

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 商業 科目 簿記演習

教科：商業 科目：簿記演習 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（1組2組：深田）（3組4組：藤本）（5組：深田）

使用教科書：（新簿記（実教出版））

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

科目 簿記演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	現金・預金などの取引 【知識及び技能】 ・現金に関する記帳法と現金出納帳の記帳法について理解させる。 ・当座預金勘定の記帳法と当座預金出納帳の記帳法について理解させる。 ・小口現金のシステムを理解させ、その記帳法と記帳の習熟をはかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現金過不足の処理法を理解させる。 ・小口現金のシステムを理解させ、その記帳法と記帳の習熟をはかる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・指導事項 現金過不足、当座借越 ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】・現金・預金の取引について、その記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】・現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	7
	手形の取引 【知識及び技能】 ・手形の種類を明らかにする。 ・約束手形のしくみと記帳法を理解させ、各種取引の記帳法について習熟させる。 ・手形記入帳の役割と記帳法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・特殊な手形の取引について意味を明らかにし、その記帳法を理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	・指導事項 受取手形、支払手形、手形記入帳、 手形の裏書譲渡・割引・書き換え、 不渡り ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】・手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。 【主体的に学習に取り組む態度】・手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	8
	主要簿と補助簿 【知識及び技能】 ・補助簿（現金出納帳、当座預金出納帳、仕入帳、売上帳、売掛金元帳、買掛金元帳、商品有高帳（先入先出法、移動平均法））の役割について復習させ、その記入方法を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿を用いてよいかの判断させ、適切に表現させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・帳簿の種類や形式について関心を高め、その記帳処理を積極的に学習させる。	・指導事項 商品売買の取引、掛け取引 ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・商品の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 【思考・判断・表現】・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】・帳簿の種類や形式について関心を高め、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
	帳簿と伝票 【知識及び技能】 ・3伝票を用いた場合の起票や集計方法のルールを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・一連の取引を帳簿組織への記帳を通して理解させ、実践的、総合的な記帳方法を習得させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳処理を積極的に学習することができる。	・指導事項 入金伝票、出金伝票、振替伝票、 集計と転記 ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・伝票の起票、集計・転記が適切にできる。 【思考・判断・表現】・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できる。 ・入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・伝票による取引の記帳法と集計・転記に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めることができる。	○	○	○	10
	本支店会計 【知識及び技能】 ・本支店間の取引に関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本支店間の取引について、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心を高め、進んで取り組み、作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしている。	・指導事項 本支店間の取引、本支店の財務諸表 の合併、支店相互間の取引 ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容を理解し、作成法を身に付けている。 【思考・判断・表現】・本支店間の取引について、その記録・計算・整理に関する問題の解決を目指して、適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 ・支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心を高め、進んで取り組み、作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	

2 学 期	決算 【知識及び技能】 ・費用・収益の繰り延べ、見越しの意味とそれぞれの記帳方法を復習させ、理解させる。 ・有価証券の評価の記帳方法を確認させ、理解させる。 ・減価償却の間接法、定率法による記帳方法を確認させ、理解させる。 ・郵便切手などの未使用分の記帳方法を理解させ、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・費用・収益の繰り延べ、見越し、減価償却（間接法、定率法）、有価証券の評価などを含めた8桁精算表の作成を習熟させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心を持たせ、自ら進んで学習させる。 定期考査	・指導事項 費用・収益の繰り延べ、見越し、 有価証券の評価、減価償却(間接法)、郵便切手などの未使用分、精算表 ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法、定率法による減価償却の記帳などに関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。・精算表を作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心を持ち、自ら進んで調べる態度を示している。プリント、ワーク等が適切に記入されている。	○	○	○	20
	決算 【思考力、判断力、表現力等】 ・費用・収益の繰り延べ、見越し、減価償却（定率法）、有価証券の評価などを含めた財務諸表が作成できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・財務諸表に対する関心を高め、主体的に学習に取り組ませる	・指導事項 費用・収益の繰り延べ、見越し、 有価証券の評価、減価償却(間接法)、郵便切手などの未使用分、損益計算書、貸借対照表 ・教材 学習プリント、問題集	【思考・判断・表現】・費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できている。 【主体的に学習に取り組む態度】・関心を高め、主体的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5
	株式会社の記帳 【知識及び技能】 ・株式会社の設立、株式の発行に関する取引の記帳について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・純利益の計上、剰余金の配当と処分の記帳について理解させる。 ・株式会社に課せられる税金の記帳方法について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・個人企業と株式会社の会計処理の違いについて関心を持たせ、自ら進	・指導事項 株式会社の設立と株式の発行、剰余金の配当と処分、株式会社の税金 ・教材 学習プリント、問題集	【知識・技能】・株式会社の設立と株式の発行について、基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】・株式会社の純利益の計上・剰余金の配当と処分・税金の会計処理について、基本的な内容と記帳方法を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】・個人企業と株式会社の会計処理の違いについて関心を持ち、自ら進んで調べる態度を示している。	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	最近の実務に広がる取引 【知識及び技能】 ・クレジット売掛金の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 ・電子記録債権・電子記録債務の意味を明らかにし、その記帳方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・減価償却を考慮したうえでの固定資産の売却について理解させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・最近の実務に広がる取引に関心を高めさせ、日常生活で行っている商取引について考察させる。	・指導事項 クレジット売掛金、電子記録債権・ 債務、固定資産の売却 ・教材 学習プリント、問題集 ・一人1台端末	【知識・技能】・クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解している。 【思考・判断・表現】・減価償却を考慮したうえでの固定資産の売却に関する記帳について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・最近の実務に広がる取引に関心を高め、日常生活で行っている商取引について、どのような仕訳で表すか自ら進んで調べる態度を示している。	○	○	○	10
	総合演習			○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
						合計	105